

岡山県支部会報

発行／(社) 中小企業診断協会
岡山県支部
2011年7月 第28号



支部の独立に向けて

支部長 額田 信一



＜はじめに＞

去る6月21日に、東京都中央区で行われた診断協会の総会に参加させていただきました。総会では、各県支部の独立と本部の連合会化が決まりました。

そこで、本稿では、これらの内容についてご報告させていただきます。

＜連合会方式選択の経緯＞

国の公益法人制度改革に伴い、現在の社団法人は、公益社団法人か一般社団法人のどちらかに移行しなければなりません。移行せずに放置していると、最終的には法人格を取り消されてしまいます。診断協会は、諸条件を検討した結果、一般社団法人を選択することになりました（下図イ）。

次に、組織の構成として、全国一体型（支部は本部の一部）と連合会型（独立した団体である各県の診断協会が団体として本部に加盟する）があります。これについては、現在の本部・支部関係の実態に合わせて、連合会型を選択することにしました（下図エ）。

最後に移行の手順として、一段階型（連合会型に改組すると同時に一般社団になる）と、二段階型（先に連合会化し、その後一般社団になる）があります。これは認

可申請の進め易さから、二段階型を選択することになりました（下図カ）。

＜会長・副会長の交代＞

このような新しい組織づくりを推進するために、会長は新井信裕氏（東京）から福田尚好氏（大阪）に交代しました。また、副会長には、川井正夫氏（愛知県）、中村正士氏（東京）、藤田武志氏（広島県）、笹山喜市氏（北海道）が就任されました。

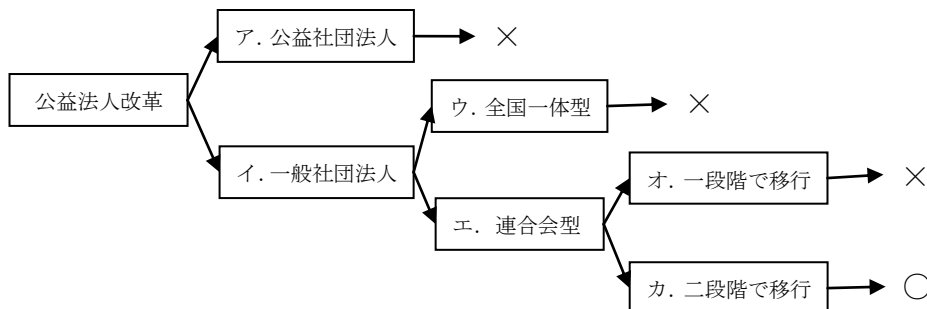
＜岡山県支部の対応＞

岡山県支部では、本部から定款その他法人設立書類のひな形をいただき、本部の賦課金や支部会費の金額などを検討した上で、一般社団法人の設立を進める予定です。

今年中に臨時総会を開き、会員の皆様の賛同を得た後、来年4月の本部の定款変更と同時に本部から独立して、新しい団体として本部（連合会）に加盟しようと考えています。

＜おわりに＞

以上のように、今期は例年の事業に加えて社団法人の設立準備があるために、岡山県支部も色々と忙しくなりそうです。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



支部通常総会開催

出席会員数 出席 39 名 委任状 31 名
 開催日時 平成 23 年 5 月 14 日 (土)
 15:00～17:00
 場所 岡山コンベンションセンター407 号室
 岡山市北区駅元町 14-1



内容

議案 1 号 (平成 22 年度事業報告及び決算報告)
 議案 2 号 (理事選任に関する件)
 議案 3 号 (平成 23 年度事業計画及び予算案)
 同議案に関し質疑応答ののち、全員拍手を以って原案通り承認された

<新理事及び役職> (任期：平成 23 年度～平成 24 年度)

| | |
|---------|--|
| 支 部 長 | 額 田 信 一 |
| 副 支 部 長 | 今 井 岸 夫 |
| 副 支 部 長 | 中 原 富 二 雄 |
| 専 務 理 事 | 山 田 哲 男 |
| 常 任 理 事 | 黒 江 正 行・児 玉 健 治 |
| 理 事 | 松 田 眞 司・川 路 隆 志・木 野 内 俊 典・黒 田 俊 彦・乗 金 勲 安 原 朋 彦・川 上 恵 三・卯 善 卓 義・竹 原 正 孝・窪 田 司 |
| 監 事 | 馬 越 晃 一・浮 田 健 治 |
| 顧 問 | 高 淵 宣 雄・多 田 土 喜 夫 |
| 相 談 役 | 加 藤 珪 一 |

<新理事のご紹介>

| | |
|-------|--|
| 川上 恵三 | <p>このたびの総会で理事に任命されました川上です。 診断士の登録は、25 年前で 41 歳の時です。プロコンサルタントとしての独立は H14 年 3 月で 57 歳。今年で 10 年目を迎えております。 この間、「経営改善作成事業」、「企業再生」、「経営革新計画策定事業」などを手掛けました。 現在は農林漁業分野のコンサル業務にも力を入れております。 新理事として、中小企業と農林漁業者の支援を通じて、地域の活性化に役立ちたいと思っておりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。</p> |
| 卯善 卓義 | <p>この度、新たに理事に就任しました卯善です。 中国銀行に勤務しており、現在は事務企画部オペレーショナルリスク管理センターで危機管理を担当しています。 微力ながら、岡山県支部の発展に尽くしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> |
| 竹原 正孝 | <p>新しく理事に選任されました、竹原 正孝です。 平成 21 年 1 月に 38 年間勤務いたしておりました銀行を定年退職し、岡山に帰ってまいりました、所属支部も大阪支部から岡山支部に変更し、みなさまのご支援ご指導で経営改善計画作成、施設園芸コスト管理・経営診断を中心に活動を続けております。 今年は、本部・支部の新組織移行時期にあたります、持てる力を発揮して、支部の発展のため力になりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> |
| 窪田 司 | <p>新任理事を拝命いたしました窪田です。 診断士フォーラムを担当させていただきます。 行き届かないところも多々あるかと思いますが、全力を尽くして頑張りたいと考えております。 今後とも会員の皆様よろしくお願いいたします。</p> |

新入会員自己紹介

大西 修

はじめまして、平成22年度の診断士試験に合格し、今年度より岡山県支部に登録しました大西 修と申します。勤務先は中国銀行です。現在はビジネスセンターという部署で日々中小零細事業者の方々と融資を中心とした相談業務にあたっています。経営改善、販売促進などの経営支援をすることもあります。交渉や支援内容はその都度2～3百字程度にまとめてパソコンに入力するので、二次試験対策にもなりました(2度受験しましたが・・・)。こうして何とか念願の診断士になれましたが、目標ではなくスタートラインです。遅咲き(50歳)ですが、早く得意分野を見つけ、経営者の皆さまから頼られるプロコンになれるよう、自己研鑽に励んでまいります。よろしくお願いたします。

瀬尾 豊

はじめまして。平成22年度の診断士試験に合格し、平成23年度より岡山県支部に登録しました瀬尾豊と申します。

岡山県倉敷市児島で生まれ育ち、専門学校を卒業した後、オフィスシステムサービス(株)という岡山市にある情報システム関連の販売会社に勤務しております。会社では、営業・インストラクターとして、地場の中小企業のお客様に対し、ITを利用した業務効率化の提案や、IT導入支援を行っております。現在は、社会福祉法人様に対してのIT化支援をメインに行っております。仕事柄、経営陣の方とお話する機会が多く、そういったお客様にもっと貢献したいという想いがあり、診断士を取得しました。コンサルタントという響きが格好よかったからという理由もありますが、

診断士になって、支部の皆様や色々な方々とお会いでき、刺激を受ける毎日です。私も自己研鑽に努め、皆様に刺激を与えることができるような人間になれるよう努力します。

若輩者の私ですが、何卒宜しくお願い申し上げます。

元家 祐次

はじめまして。平成22年度の診断士試験に合格し、平成23年より岡山県支部に登録しました元家祐次と申します。

勤務先は株式会社中国銀行です。平成17年に入社し、支店勤務を経て、現在はリスク管理の業務に携わっています。銀行業務において非常に重要なコンサルティング能力を向上させたいという思いから診断士資格の勉強に取り組んできました。

今後は岡山県支部の皆様との繋がりを大切にしつつ自己研鑽を図っていきたくと考えています。宜しくお願い申し上げます。

笠石 基志

はじめまして。平成22年度の診断士試験に合格し、平成23年より岡山県支部に登録しました笠石基志と申します。

勤務先はヤンセンファーマ株式会社です。現在は営業として、岡山西地区を担当しております。営業としても経営の幅広い知識が必要と思ひ、診断士資格の勉強に取り組んできました。

中小企業診断士としての知識を現場で生かし、また磨いていこうと思っております。

今後は岡山県支部の皆様との繋がりを大切にしつつ自己研鑽を図っていきたくと考えています。宜しくお願い申し上げます。

井上きよみ

東京で長年IT系企業を営んできましたが、親の介護で帰省し、(株)ハートバードを2009年末に設立しました。ベンチャー・ビジネスプランコンテストで審査員特別賞受賞、岡山県とマイクロソフト協働のITベンチャーに選定される等、少しずつ活動が認知されてきました。今年度は介護施設の外部評価機関として県の選定を受け、情報発信に精を出そうと思ひます。

無料ネットサービス「写真deぬり絵」(<http://nurie.me>)は介護施設やお子様イベントで喜ばれています。

大林 由人

はじめまして。平成22年度の診断士試験に合格し、平成23年7月より岡山県支部に登録しました大林由人と申します。

大学卒業後、化粧品メーカーで生産技術職に就いた後、平成12年に父親の経営する(株)大林商店に入社しました。従業員12名、包装資材の卸業を営む中小企業です。工学部出身で経営に関する知識がまったくなかったため、少しでも経営に関する知識を身に付けたいと思ひ診断士の勉強に取り組みました。

まだまだ、経営者としての知識や経験はありませんが、少しでも経営者の方々に信頼される診断士になれるよう、自己研鑽に励んでまいります。

宜しくお願い致します。

診断士フォーラム

このフォーラムは、会員の皆様方にプロコンサルタント、企業内コンサルタントの研鑽の場、そして、人脈づくりの場として利用していただくためのものです。多くの方の参加をお待ちしております。

原則として月1回、第2日曜日に開催し、経営面のみならず、幅広い分野の講師をお願いして充実いたします。

| 日程 | 講師 | テーマ |
|------------------------|---|--|
| 第1回 フォーラム 4月10日 | 中小企業支援課 課長 神崎正和 氏 中小企業支援課 主幹 本阪恵一 氏 技術支援部研究開発支援課 主任 衛藤貴志 氏 | 新年度の中小企業支援策について 岡山県産業振興財団からの報告 |
| 第2回 フォーラム 6月12日 | 会員 窪田 司 氏 | 本当の収益が見える！ 非現金取引におけるリスクの見方！ |
| 第3回 フォーラム 7月3日 | AIGエジソン生命保険株式会社 上岡 融 氏 (外部講師) | 理念セールス ～営業力の真髓をお話しします～ |
| 第4回 フォーラム 8月7日 | 神田労務コンサルティング 社会保険労務士 神田 豪 氏 (外部講師) | 労働関係にまつわる法律あれこれ |
| 第5回 フォーラム 9月11日 | 株式会社パソナ パソナキャリアカンパニー 再就職支援事業部門 組織人事コンサルタント 西日本営業統括部 統括部長 西谷 誠 氏 (外部講師) | 適正要員実現施策における 再就職支援 (アウトプレースメント) 活用事例紹介 |
| 第6回 フォーラム 11月13日 | 竹原コンサルティング 竹原 正孝 氏 (会員) | 植物工場における コスト分析と経営診断 |
| 第7回 フォーラム 12月11日 | 未定 | 未定 |
| 第8回 フォーラム | フォーラム後、新年会あり | フォーラムの時間は 15時から17時の予定 |
| 第9回 フォーラム 2月12日 | 未定 | 未定 |
| 第10回 フォーラム 3月11日 | 尾道大学経済情報学部3年 小川ゼミナール 小川 長 氏 (会員) 山崎 絢 氏 (非会員) | 地域活性化研究会 活動報告 |



支部研究会活動

地域活性化研究会

担当：松本 直也

地域活性化研究会は、本年度マスターセンター事業『大学生の職業観と中小企業が取り組むべき求職活動に関する調査研究』を実施します。小川・安藤・春名・太田・松本の中小企業診断士に加え、ミチナス代表の長江由美子さん（キャリアコンサルタント）、尾道大学3回生の山崎絢さんにご参加いただき、診断士の視点のみでなく、学生の就職支援者の視点やこれから就職活動を行う学生の視点を取り入れた調査研究としたいと考えております。

ISO研究会

担当：増田 泰三

ISO研究会の今年度の活動は、4月に第1回会合でキックオフしました。今は「ISO9004：2009 解説と活用ガイド（日本規格協会）」を参考書に、各自が自主勉強をしています。秋には合宿研修会をして、勉強の成果を確認する予定にしています。

企業再生研究会

担当：渡辺 昌平

再生研（略称）は今年5月に新生しました。現在の会員数は24名で、月例会を毎月第3火曜日の午後6時半からゆうあいセンターで行なっています。今年度目標としては、来年4月には「再生実務可能レベルになること」「他土業および県外同研究会とのネットワークづくり」のふたつを目指しています。活動内容としては、この1年間は主として会員が持ち回りで講師役をつとめる“自主的勉強会”になります。

循環ビジネス研究会

担当：黒江 正行

1. セミナー

8月28日（日）に岡山県循環型社会推進課の方を講師に招き、「産業廃棄物とリサイクル～岡山県の動向を知る（仮テーマ）」でセミナーを開催する予定です。

2. 視察 現在計画中です。

コミュニティビジネス研究会

担当：黒田 俊彦

本年度中に、全員で集まる機会を設けて、今後の方向性を検討いたします。

ワークライフバランス研究会

担当：竹原 正孝

昨年のマスターセンター補助事業報告書で「提言、注意点」を報告いたしました。今年度は、岡山県「おかやま子育て応援宣言企業サポート事業」の派遣を通して、各企業がワークライフバランス導入時に苦労した点を掘り下げて、具体策に肉付けし、内容の充実を図りたいと考えております。

知的探訪研究会

担当：中原富二雄

本年度、活動開始2年目に当たり会員を再度募集して17名でスタートしています。見学会はすでに4回をこなし、本年度目標10回に向けて計画的に行動しています。すでに見学した先は第一回目が三井造船（株）玉野事業所で主としてジーゼルエンジン工場を見学し、第2回目はその日の午後から、玉野市内の宮原製作所でジーゼルエンジン部品（部品と言っても大型ですが）工場を見学しました。第3回目は醸造装置メーカーのフジワラテクノアートを見学、第4回目として午後から工業技術センター、おかやまリサーチパークインキュベーションセンターを行いました。上記4回はいずれも平日でありましたが、これからは極力土曜日、日曜日の見学会を計画しています。今後の見学予定先としては「自動車部品製造業」、「繊維製品製造業」、「知的探訪研究会会員の見学希望する企業」の見学会を予定しています。またこの見学会のご案内は会員限定でお知らせしていますので、興味のある方は「知的探訪研究会」に入会して頂きますようお願いいたします。

海外ビジネス研究会

担当：児玉 健治

今年の海外視察は11月3日（木）～6日（日）で予定しております。行先は、経済成長がめざましく注目度が高まるタイを第一候補に、中国、韓国を第二候補として検討中です。決定次第ご案内いたします。ぜひともご参加ください。

会員投稿

モジュール生産とすり合わせ技術について

中小企業診断士（岡山県支部会員）

藤原 敬明

今年6月に、デンマーク皇太子が玩具のレゴを持って、東日本大震災の被災地の子供たちを訪問されました。この玩具のレゴのように製品を組み立てる方法を、モジュール生産と呼んでいます。モジュール生産された代表的製品には、パソコンがあります。パソコンにUSBメモリーを取り付ける時、USBメモリーの容量が替わっても取り付け方は全く変わりません。このような組立の方法がモジュール生産です。

一方、日本の産業はすり合わせ技術が優れていると言われてきました。ただ、すり合わせ技術という言葉は、モジュール生産以外の生産方法を表し曖昧でした。

クルマを例にとれば、同じエンジンを幾つものボディに載せ、同じボディに数種類のエンジンを搭載しています。この点のみ考えればモジュール生産です。しかし、エンジンは排気量が大きくなると、重量も重くなります。前輪に掛かる重量と後輪のそれが変化すると、ハンドルを切った時のフィリングが変わってしまいます。どのクルマに乗ってもストレスのない運転をするためには、前輪と後輪に掛かる重量比を調整する必要があります。エンジンマウントの形状を変更し、エンジンの位置を変えて調整します。この調整がすり合わせ技術です。実際には、スプリングとショックアブソーバもすり合わせが必要になります。エンジンの排気量がアップすると内装等の装備を豪華にしています。これは、モジュール生産の考えです。

モジュール生産とすり合わせ技術は合い反する概念のように、今まで考えられてきました。しかし、この二つの技術は相反するものではありません。モジュール生産の一部にすり合わせ技術を必要としているだけです。それを総称してすり合わせ技術と呼んでいます。マスカスタマイゼーションと同じ考えです。モジュール生産の考えは、全ての製品に共通して必要なものです。

クルマの場合このようなすり合わせ技術はベンツやBMW、アウディのような欧州の高級自動車メーカーが進んでいると認識していたし、多くの人たちも同様に考えています。日本のすり合わせ技術が進んでいるというのは何だったのでしょうか。日本はすり合わせ技術を低コストで実現できることに特徴があると考えます。たぶん、その源泉は、日本企業の現場力の強さにあるのでしょう。これからはモジュール生産を強化するために、組織力を高めていかななくてはならないでしょう。部門間の調整力を強化できる体制に移行していきます。

多くの人が言っているように、完全なモジュール生産は現在の日本には不向きなのかもしれません。一部にすり合わせ技術を含むモジュール生産には、競争力があります。すり合わせ技術を活かすためにも、モジュール生産を強化しなくてはならないと考えます。



美味しい「尾道ラーメン」のはなし

中小企業診断士（岡山県支部会員）

尾道大学経済情報学部准教授

小川 長

学生と一緒に尾道市内にある「道の駅」取材していた時、「観光客から、尾道ラーメンの美味しい店はどこかとよく聞かれる」という話を耳にした。

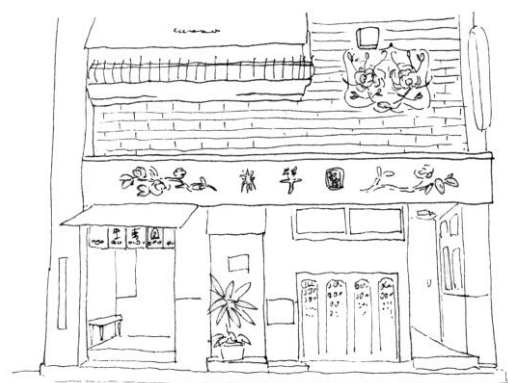
確かに、旅行ガイドブックには尾道ラーメンの店が何件も紹介されているが、広告料などの影響によるバイアスが払拭できない。また、公的機関などが提供するガイドや街歩き地図等に紹介されているケースもあるが、あちらの店を載せて、こちらを載せない訳にいかないといった理屈で、どこもかしこも総花的に紹介されていることが多い。これは「売る側の論理」優先と、一種の「慣れ合い」の産物であり、ボクならそんな情報は知りたくもない。

本当に観光客の立場になれば、「はるばる尾道に観光に来たのだから、美味しい尾道ラーメンを食べたい」という当然の気持ちから、「美味しい店はどこか」と聞いていることは容易に想像できる。だから、これにはっきり答えることが「価値のある情報を提供する」ということであり、本当に「観光客（顧客）のことを思った態度」だろうとボクは思う。あちこちで、口では「観光客を増やそう」などと喧々囂々やっているが、自分たちのことを真っ先に考えるあまり、実際には、こうした本質を忘れていることが多いのではないだろうか。

そんな訳で、ボクのゼミナールでは学生に対して行ったアンケート調査をもとに、「尾道大生100人に聞きました！」というタイトルでベスト3店舗を選び出して、本

学美術学科の学生と共同で、道順、駐車場を加えたイラスト地図にして情報提供することにし、もうすぐそれが完成する。

この駄文をご覧のみなさまに、特別情報をこっそりお伝えすると、ベスト3は、栗原町の「東珍康（とんちんかん）」、土堂2丁目の「老番館」、十四日元町の「朱華園」となっている。ラーメンが大好きなボクの採点に照らしても、学生の評価はリーズナブルだと思う。みなさまもどうぞ、美味しいラーメンを食べに、尾道へお越し下さいませ！



（イラストは美術学科3年、上月もえさんの作品）

事務局だより

1. 平成23年度理論政策更新研修（座学）のご案内

日 時：平成23年10月1日（土）13時～17時の予定（後、懇親会開催予定）

場 所：コンベンションセンター レセプションホール

<必須科目①> 「新しい中小企業施策について」

中国経済産業局 中小企業課 課長 藤本 茂文

<必須科目②> 「中小企業におけるソーシャルメディア活用法」

岡山商工会議所 中小企業振興部（中小企業診断士） 枝 純一郎

<演習（事例研究）>

「中小企業におけるソーシャルメディア活用法（演習編）」

岡山商工会議所 中小企業振興部（中小企業診断士） 枝 純一郎

2. 平成23年度支部事業予定

(1) 診断実務従事事業 受診先：「元気笠岡推進協議会」

日 時：平成23年9月10日（土）～11月実施予定。

(2) 支部研修事業

内 容：中四国近県支部との合同研修会

日 時：平成23年10月15日（土）13:00～17:00（予定）

場 所：コンベンションセンター404会議室

(3) 海外視察事業

視察先：タイ（第一候補）

日 時：平成23年11月3日（木）～6日（日）（予定）

(4) 新年会

日 時：平成24年1月15日（日）17:00～（予定）場所未定。

<<岡山商工会議所よりご案内>>

飛躍をはかる事業者を応援
～マル経推進キャンペーン実施中～

マル経融資
小規模事業者経営改善資金融資制度

無担保・無保証人
※保証料不要です。

融資限度額
1,500万円

低金利
平成23年6月23日現在
金利 **1.85%**
※利率は借入額により変動します。

「マル経融資」は、小規模事業者の経営改善を促進し、経営の健全化を図るために作られた国の融資制度です。担保も保証人も不要で、金利も非常にお得な水準に設定されていますので、資金調達・資金繰りをお考えの際にはぜひご検討ください。ただし、マル経融資をお申し込みいただくには、商工会議所の6ヶ月前からの経営指導が必要ですので、早めの対応・ご相談をお願いします。

お申込みから融資・返済までの流れ

①ご相談 お申込み → ②調査 → ③推薦 → ④融資 → ⑤返済

経営者 ↔ 日本政策金融公庫
経営者 ↔ 商工会議所
商工会議所 ↔ 日本政策金融公庫

マル経資金の利子補給の緊急支援事業により、平成23年度は0.5%分が6カ月間補給されます！
(岡山商工会議所管内のみ)

岡山県支部会報 第28号

平成23年7月15日 発行

社団法人中小企業診断協会
岡山県支部

〒700-0907
岡山市北区下石井2-1-10 7F
Tel 086-225-4552
Fax 086-225-4554

発行人 支部長 額田信一
編集人 専務理事 山田哲男

